

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、スピーチ大会の実施や、教室に話し方ルールを掲示して継続した指導を行ったこと、話し手を見て、意図や話の内容を考えながら聞くことの指導を行った成果が少しずつ表れている。また、筋道を立てて話すことの指導を行ったこと、話の中心に気をつけて聞くことの指導を行ったことにより、成果が出てきた。
- ・「書くこと」に関しては、相手や目的・意図に応じて、適切に文章を書くことができるようにするために型を示したり、書くときの観点を示したりすることで、目的や意図に沿った文章を書くことができるようになってきている。
- ・「読むこと」に関しては、説明的文章において、段落の働き、段落構成、段落相互の関係などに重点をおいて指導してきた結果、正しく読み取ることができるようになってきた。
- ・「言語についての知識・技能」に関しては、MIMの年間計画に従って継続して指導を行ってきた結果、定着が見られた。また、国語辞典、漢字辞典を身近に置かせ、日常的に活用させることで語彙を豊かにすることができている。PCでローマ字入力を行わせたことで、年間を通してローマ字に慣れることができた。

(2) 課題

- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、事柄を順序立てて話すことや要点をまとめて話すことに対して継続して指導を行っていく必要がある。また、話し手の意図や話の内容を考えながら聞くことに関しても継続した指導が必要である。
- ・「書くこと」に関しては、書くことに対して苦手意識が強い児童が多い。例文や型を示したり、国語以外の教科でも学習感想や新聞づくり、学習のまとめの短作文など、文章で表現する場面を設定したりし、書くことの力を伸ばす指導を今後も行っていく。
- ・「読むこと」に関しては、説明的文章に苦手意識をもっており、文章の要点を掴むことができない。キーワードやキーセンテンスを捉える学習を行っていく。
- ・「言語についての知識・技能」に関しては、修飾・被修飾の関係、主語・述語の関係、指示語や接続語等、語感や言葉の使い方、敬語などの定着が弱く、繰り返し指導を行う必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較) 目標値と比較 △:目標値以上 ▽:目標値未満

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽
第5学年	知識・技能 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽
第6学年	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽	知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ 主体的に学習に取り組む態度▽

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より下回るという結果が出ている。漢字の読み、言葉の学習についてはおおそ理解できている。一方、文章の要約や主語と述語の関係などの理解ができていない。	目標値より下回るという結果が出ている。相手に伝わるように、自分の考えを、理由を挙げながら話すことができている。情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約することが苦手な児童が多い。	目標値より下回るという結果が出ている。相手に伝わるように、自分の考えを伝えようとしていることができている。一方で、粘り強く問題に取り組む力が十分ではない。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より下回るという結果が出ている。慣用句や思考に関わる語句の量が増え、語彙を豊かにしている。漢字を正しく読んだり書いたりすることができていない。	目標値より下回るという結果が出ている。話し手が伝えたいことの中心を捉えることはできている。一方で、叙述を基に文章の内容を捉えることや意図に応じて、書き表し方を工夫することができていない。	目標値より下回るという結果が出ている。文章を指定された長さや段落構成で書く問題において、粘り強く問題に取り組むことができていない。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主語と述語の関係を正しく理解したり、話したり書いたりできるようにするため、国語科の学習だけでなく、日常的に指導をしていく。	文章の要約をすることができない。文章のキーワードや要点に印を付け、要約をする際に型などを提示して、練習を積み重ねていく。	粘り強く課題に取り組むことができない。学習課題に見通しをもたせ、文章を書く学習では字数設定を行ったり型を示したりするなど指導を行っていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の要約や主語と述語の関係などの理解ができていないため、文章の要点を抽出し端的にまとめたり、正しい主述の関係で文章を書いたりできるように指導していく。	文章の読み取りはできているが、自分の思いや考えを適切に表出することができていない。型を示したり、観点を示したりする指導を行っていく。	文章を指定された長さや段落構成で書かせるために、字数設定や型を示すなどの課題設定をしたり、国語以外の教科でも新聞づくり、学習のまとめの短作文など、文章で表現する場面を設定したりしていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字を正しく読んだり書いたりすることができていない。文章を書く際に学年相応の漢字を正しく書く指導を国語科以外の教科でも行っていく。	目的や意図に応じて文章を書いたり、考えをまとめたりすることができるようにするために、型を示したり観点を示したりする指導をし、児童が書く活動を繰り返して行っていく。	文章を指定された長さや段落構成で書く活動に取り組みせるために、字数設定や型を示すなどの課題設定をしたり、日常的に文章で表現する場面を設定したりしていく。